

あなたの夢を応援します。JASSOの奨学金。

2020年度
進学予定者用

奨学金 ガイドブック

2019

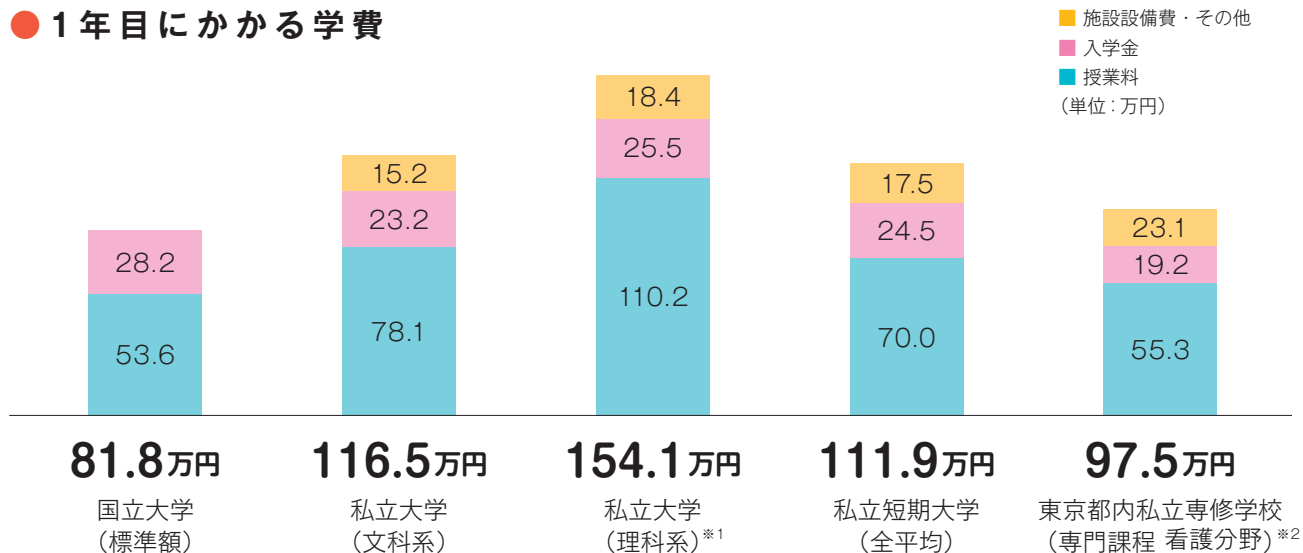
- 【調べてみよう】進学したい学校は、どのくらいお金が必要？ … P1
- 【調べてみよう】学費等をサポートしてくれるものは？ … P2
- 日本学生支援機構の「給付奨学金」のご案内 … P3
- 日本学生支援機構の「貸与奨学金」のご案内 … P3
- 先輩奨学生からのメッセージ … P6



【調べてみよう】進学したい学校は、どのくらいお金が必要？

大学などで修学するには、入学金や授業料をはじめ、学生生活の費用などがかかります。
その費用は、保護者に負担してもらったり、アルバイトをして自分でまかなったりしなければなりません。

● 1年目にかかる学費



国立大学については国が示す平成30年度標準額、私立大学・短期大学については平成29年度昼間部の平均額です。(文部科学省資料より)
東京都内私立専修学校(専門課程 看護分野)については平成29年度の平均額です。(公益社団法人東京都専修学校各種学校協会調べ)

*1 医歯系は含みません。医歯系の初年度納入金額平均は477.1万円です。

*2 四捨五入の関係で、合計において必ずしも一致しません。

● 学生生活費1年間の内訳

1年間の支出平均 (大学学部昼間部) **1,884,200円**
 自宅から通う学生の平均支出 **1,667,200円**
 アパートや下宿などから通う学生の平均支出 ... **2,201,000円**



1年間の収入平均 (大学学部昼間部) **1,965,900円**



その他 **43,800円**
2.2%



(日本学生支援機構「平成28年度学生生活調査結果」より)

【調べてみよう】学費等をサポートしてくれるものは？

いろいろなサポートがあるので、進学前によく調べてみましょう。

奨学金 学生本人に対して学資金をサポートする制度です

いろいろな団体で行っています。

奨学金制度を行っている団体

日本学生支援機構 地方公共団体 育英団体 学校

奨学金には2種類あります。

■ **給付型奨学金** — 原則として返す必要がないもの


■ **貸与型奨学金** — 返さなければいけないもの

貸与型奨学金は返す時に、利息が付かないもの（無利子）と、利息が付くもの（有利子）があります。

貸与型奨学金は、進学後に本人が月々受け取り、卒業後に本人が返すものが主流です。

授業料等減免制度 入学金や授業料など学費の一部または全部が免除される制度です

入学試験の成績優秀者を対象とするものや、経済的困窮者を対象とするものなど、学校によってさまざまです。



奨学金や授業料減免制度の検索システム

JASSOホームページ「大学・地方公共団体等が行う奨学金制度」
ホーム>JASSOについて>学生支援に関する各種調査
https://www.jasso.go.jp/about/statistics/shogaku_dantaiseido/index.html

奨学金制度検索



教育ローン 保護者などが金融機関から借り入れます

日本政策金融公庫の国の教育ローンやその他金融機関の教育ローンがあります。

日本学生支援機構の貸与奨学金と一般的な教育ローンとの比較

	日本学生支援機構の貸与奨学金	一般的な教育ローン
誰が借りる？	学生本人	保護者等
基準は？	保護者の収入が一定額以下	保護者の収入が一定額以上
借り方は？	在学中、月々	契約成立次第、一括で
いつ返す？	卒業後	借りた翌月から
利息は付く？	無利息と、利息付(在学中は無利息)があります	貸付と同時に利息発生
どのくらいの利息？	利率固定方式：年0.14% 利率見直し方式：年0.01% (2019年3月末) ※利率は年3%を超えないよう法令で定められています	政府系金融機関：年1.36%（母子家庭等） または年1.76%（その他） A銀行：2.975%（担保あり） または年3.475%（担保なし） (2019年1月現在)

いろいろ違いがあるのね



日本学生支援機構の「給付奨学金」のご案内

住民税非課税世帯及びそれに準じる世帯の人を対象とした原則返還不要の奨学金制度です

2020年4月から、高等教育無償化の新制度が実施される予定です。

※制度の詳細や最新の情報については文部科学省ホームページ

「高等教育段階の教育費負担軽減」をご覧ください。

<http://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>



日本学生支援機構の「貸与奨学金」のご案内

日本の大学生の2.7人に1人が利用している国の奨学金制度です

日本学生支援機構の貸与奨学金は、自分で借りて卒業後に自分で返していく奨学金です。



学力基準と家計基準

貸与奨学金には「第一種奨学金」と「第二種奨学金」の2種類があり、それぞれの採用に基準があります。

第一種奨学金（無利息）	
学力基準	家計基準の目安【4人世帯の場合】
申込み時までの高等学校等の成績の平均が5段階評価で 3.5以上	家計収入（年額）が 747万円以下
<p>住民税（市区町村民税所得割）非課税世帯・生活保護受給世帯の生徒または社会的養護を必要とする人（児童養護施設入所者等）については、この学力基準に満たなくても、学習意欲があれば申込みできます。</p>	<p>住民税（市区町村民税所得割）非課税世帯・生活保護受給世帯の生徒または社会的養護を必要とする人（児童養護施設入所者等）については、この家計基準に満たなくても申込みできます。</p>

第二種奨学金（利息付）	
<small>・在学中は無利息 ・利率固定方式：年0.14%、利率見直し方式：年0.01%（2019年3月末）</small>	
学力基準	家計基準の目安【4人世帯の場合】
<p>次のいずれかに該当すること</p> <p>① 申込み時までの高等学校等の成績が学校の平均水準以上であること</p> <p>② 特定の分野において特に優れた資質能力を有すると認められること</p> <p>③ 学修意欲があり学業を確実に修了できる見込みがあると認められること</p>	<p>家計収入（年額）が1,100万円以下</p>

※ 詳しくは、日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

申込時期 「予約採用」と「在学採用」があります

予約採用	在学採用
高校3年生の夏頃に、在学する高校で申し込む 【申込み先】在学する高校 ※ 予約採用は、進学先が未定でも申込みができ、 進学後の奨学金を予約できて安心です。	進学後に、進学先の学校で申し込む 【申込み先】進学先の学校の奨学金窓口

貸与金額 毎月、本人の口座に振込まれます

	大 学				短期大学・高等専門学校(4・5年生)・専修学校(専門課程)			
	国公立		私 立		国公立		私 立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	45,000円	51,000円	54,000円	64,000円	45,000円	51,000円	53,000円	60,000円
その他の月額				50,000円				50,000円
		40,000円	40,000円	40,000円		40,000円	40,000円	40,000円
	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円
	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円

※ 家計収入(年額)が一定額以上の場合は、各区分のその他の月額から選択します。
 ※ 2020年度以降に奨学生となる方から給付奨学金と併せて利用する場合は、上表の月額が減額されます。

第二種奨学金(利息付)

2万円～12万円(1万円単位)

- ※ 私立大学 医・歯学課程12万円を選択した場合、4万円の増額可
- ※ 私立大学 薬・獣医学課程12万円を選択した場合、2万円の増額可

※ 「入学時特別増額貸与奨学金(一時金・利息付)」(10万、20万、30万、40万、50万円から選択)があります。
 日本政策金融公庫の「国の教育ローン」が借りられなかった世帯が対象になります。

いくら借りたらいくら返すのか
シミュレーションできるよ



奨学金貸与・返還シミュレーション

(JASSOホームページ)

<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>

返還シミュレーション

検索



奨学金の返還について 困った時の救済制度があります

返還は卒業後7か月目から始まり、毎月、口座から引落としされます。

病気・災害・経済困難などで返還が難しくなった時には、以下の救済制度があります。

救済制度の利用には願い出が必要なので、返還に困ったら奨学金相談センターに相談しましょう。

返還に困ったら、
すぐに相談!

減額返還制度

- ・ 月々返還する金額を1/2または1/3に減らすことができます。
- ・ 減額返還適用期間に応じた分の返還期間を延長して返還します。
なお、返還予定総額は変わりません。

返還期限猶予制度

- ・ 月々の返還を先送りすることができます。
- ・ 先送りした分、返還完了が先に延びます。返還予定総額は変わりません。



返還方式が選択できます! (第一種奨学金のみ)

「定額返還方式」または「所得連動返還方式」

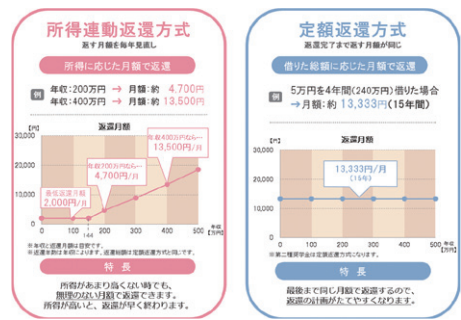
「定額返還方式」は、借りた総額に応じて月々の返還額が算出され、返還完了まで定額で返還する制度です。

「所得連動返還方式」は、貸与終了後の収入・所得に応じて返還額が変動するため、無理なく奨学金の返還を続けていくことができます。

「所得連動返還方式」を選ぶ場合は、機関保証(保証料が必要)となります。

なお、「所得連動返還方式」を選択された方は、減額返還制度を利用することはできません。

※ 詳しくは、JASSOのホームページをご覧ください。



参考) 日本学生支援機構の貸与奨学金を借りて、返還が終わるまで

月額5万円(第二種奨学金 利息付)、 大学4年間奨学金を借りたAさんの場合



【Aさんの返還明細】

借りた総額	2,400,000円 (5万円×48か月)
返還期間	15年間(月賦返還回数 180回)
返還総額	2,426,987円 〔内訳〕 元金 2,400,000円 利息 26,987円 (2019年3月末の年利率0.14%で計算※)
月々の返還額	13,483円(最終回 13,530円)

※ 利率は、国の財政融資資金の借入金金利に連動しています。(ただし、上限年3%)

日本学生支援機構の奨学金の申込みにはマイナンバーが必要です

日本学生支援機構では、法令に基づき、マイナンバーを利用して奨学金に関する各種手続きに必要な収入に関する情報を行政機関間の情報連携により取得します。

マイナンバーをご提出いただくことで、奨学金申込時の所得証明書など、これまで手続きに必要なだった証明書類の一部をご用意いただく必要がなくなります。

※ 奨学金の申込みに必要な提出書類の詳細は、申込案内でお知らせします。

先輩奨学生からのメッセージ

Q1. どうして日本学生支援機構の奨学金を借りようと思いましたか。

授業料や下宿などの費用面で両親にできるだけ負担をかけることなく進学したいと考えたため、奨学金を利用しました。

Q2. 奨学金をどのようなことに利用しましたか。

毎月の家賃や生活費、学費の支払いに利用しました。また、研究活動を行う際の専門書の購入や旅費、研究活動を活かした実践活動を行う際の費用等、まとまったお金が必要だったので、大変助かりました。

Q3. 奨学金を借りてよかったと思ったことは、どんなことですか。

アルバイトの時間を少なくすることができ、限られた学生生活の時間を研究活動、実践活動に費やすことができました。また、奨学金を利用するによって生活費や学費に係る不安も抑えることができたので学業等に集中することができました。

Q4. 奨学金を借りて進学しようと考えている高校生のみなさんへ！

学生時代に様々な経験を積み、多くの友人を得ることは、社会人となってからの人生にとっても大きな糧となります。奨学金は有意義な学生生活を過ごすための後押しをしてくれますので、上手な活用を検討してみてください。



辻 堅太郎さん

鳥取大学地域学部(2010年卒業)、大阪市立大学大学院創造都市研究科(2012年卒業)
東京都庁生活文化局 勤務

Q1. どうして日本学生支援機構の奨学金を借りようと思いましたか。

私は、小学生の頃から言語学に興味があり、大学に進学して言語学を専門的に勉強したいと強く思っていました。しかし、高校生当時の家庭状態を考えると、大学進学は難しい状況でした。そのため、進学について悩んでいたところ、学校で奨学金という制度を教えていただき、奨学金を借りて進学しようと考えました。

Q2. 奨学金をどのようなことに利用しましたか。

すべて学費に使いました。

Q3. 奨学金を借りてよかったと思ったことは、どんなことですか。

有意義で充実した学生生活を送ることができたことです。

私は、奨学金で足りない分はアルバイトで補っていましたが、奨学金のおかげでアルバイトに追われることもなく、学業に邁進することができました。また、残りの時間で一輪車の練習にも力を入れることができ、世界大会で優勝するという、もう1つの目標も達成することもできました。もしも奨学金を借りていなければ、毎日アルバイトばかりになってしまい、学業も一輪車も中途半端になっていたと思います。

アルバイトの負担を減らし、自分がやりたいことに全力投球出来たことが、奨学金を借りてよかったと思っていることです。

Q4. 奨学金を借りて進学しようと考えている高校生のみなさんへ！

奨学金は、夢や目標に挑戦しようとする学生を支援して、強く背中を押してくれる、学生のための制度です。経済的な理由で夢や目標を諦めて仕舞わないでください。是非、みなさんも、今持っている素敵な夢や目標を実現させましょう！



長濱 未奈子さん

上智大学 外国語学部 イスパニア語学科(2012年卒業)
(公社)日本一輪車協会公認インストラクター RAINBOW 一輪車クラブ 代表

日本学生支援機構の奨学金の申込案内は、
在学している高校でもらいましょう。



日本学生支援機構の奨学金制度について詳しく知りたい時は、
ホームページをご覧になるか、奨学金相談センターにお問い合わせください。

日本学生支援機構 ホームページ

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/>

奨 学 金

検 索



日本学生支援機構 奨学金相談センター



0570-666-301 (ナビダイヤル・全国共通)

月曜日～金曜日 9時00分～20時00分 (土日祝日・年末年始を除く)

海外からの電話、一部携帯電話、一部IP電話は
専用ダイヤル **03-6743-6100** をご利用ください。

※貸与・給付奨学金に関する手続きのスケジュール等については在学する学校にご確認ください。
※高等学校卒業程度認定試験合格者・科目合格者・出願者の方が「予約採用」に申し込む場合は、ホームページを参照のうえ、日本学生支援機構にお問い合わせください。